電子情報システム工学科（基幹コース）〔2022年度以降入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

（1） 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
（2） 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
（3） 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕
（4） 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕
（5） 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
（6） 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕
◆注：「3）」を明細化したものが、各学科のDPとなる

（A） 数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。
A-1） 数学や自然科学等の基礎的知識を持ち、それらを応用することができる。〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕
A-2） コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索に習熟している。〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕
（B） 国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいた判断ができる。
B-1） 人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕
B-2） 技術者として必要な社会倫理を理解し、専門職業人として社会に貢献する自覚ができている。〔技術者倫理の理解と社会貢献の自覚〕
（C） 国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。
C-1） 日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕
C-2） 外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕
C-3） 技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的な内容の伝達能力〕
（D） 電子・情報通信分野の専門知識と技能を蓄積し、それらを総合して課題に取り組むことができる。
D-1） 電磁気学、電気回路、電子回路などの知識を身につけている。〔電磁気学・電気回路・電子回路の知識〕
D-2） 電子デバイスなどハードウェアに必要な知識と技能が修得できている。〔ハードウェアに必要な知識・技能〕
D-3） 情報通信工学に必要な知識とソフトウェアやネットワークの技能が修得できている。〔ソフトウェア・ネットワークの技能〕
D-4） 電子・情報通信分野の専門的知識を理解して課題解決に適用することができる。〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕
（E） 自主的な学習による課題解決能力を継続的に向上させることができる。
E-1） チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。〔チームワークによる課題解決能力〕
E-2） さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。〔独自の方法での課題解決能力〕
E-3） 与えられた条件下で課題を解決することができる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕
E-4） 自主的な学習の継続を通じて課題解決能力を向上させることができる。〔課題解決能力を向上させる能力〕

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A-1)	A-2)	B)	B-1)	B-2)	C)	C-1)	C-2)	C-3)	D)	D-1)	D-2)	D-3)	D-4)	E)	E-1)	E-2)	E-3)	E-4)
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文学的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△					◎															
		文章表現基礎	2	○	○		◎							◎															
		哲学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		倫理学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		美術史	2	○	◎		△	△	△					◎															
		文学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△					◎															
		法学（日本国憲法）	2	○	◎		△	△	△					◎															
		経済学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		歴史学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		心理学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△					◎															
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の文化と社会Ⅰ	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の文化と社会Ⅱ	2	○	◎		△	△	△					◎															
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○									◎											
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅠa	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅠb	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅡa	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅡb	1	△	○		◎		○									◎											
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○									◎											
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅠa	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅠb	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅡa	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅡb	1	△	○		◎		○									◎											
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○									◎											
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○									◎											
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○									◎											
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○									◎											
		海外語学研修	2	△	○		◎		○									◎											
		日本語Ⅰ	2	△	○		◎		○									◎											
		日本語Ⅱ	2	△	○		◎		○									◎											
		健康体育Ⅰ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		健康体育Ⅱ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		生涯スポーツⅠ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		生涯スポーツⅡ	1	△	○		◎	○	△					◎															
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○																							
		解析学Ⅰ演習	1	◎	○	△					◎																		
		解析学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅱ演習	1	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅲ	2	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅲ演習	1	◎	○	○					◎																		
		線形代数学Ⅰ	2	◎	○	○					◎																		
		線形代数学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																		
		微分方程式Ⅰ	2	○	◎	○					◎																		
		微分方程式Ⅱ	2	○	◎	○					◎																		
		物理学a	2	△	◎						◎																		
		物理学b	2	◎	◎	△					◎																		
		物理学c	2	○	◎	○					◎																		
		物理学d	2	○	◎	○					◎										○								
		物理学実験	2	△	△	○	◎	◎	○		◎																		
		化学	2	△	◎				○		◎																		
		地球科学	2		◎				◎		◎																		
		生物科学	2		◎				◎		◎																		
		工学倫理	2	△			△	○	◎		◎				○														
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○		◎				○														
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△						◎		○												
		基礎情報処理Ⅰ	1		◎							◎																	
		基礎情報処理Ⅱ	1		◎							◎																	
		品質管理	2	○	◎		△	△	○		○				◎														
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○					◎																		
		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○					◎																		
		淀川と人間	1	△	◎		△	△	○					◎															

		淀川と環境	1	△	○		△	△	◎					◎															
		エンジニアリング探求演習（PBL）	1	○	◎	◎	◎	◎	△																	◎	◎	○	
		宇宙・地球・生命ー探究演習（PBL）	1	△	△		◎	◎	○																		○		
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○					○																		
		ベクトル解析	2	○	◎	○					○																		
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○					○																		
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○					○																		
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○					○																		
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○					○																		
		応用数学Ⅰ	2		○	◎					◎																		
		応用数学Ⅱ	2		○	◎					◎																		
		実践化学	2	△	◎				○		○																		
		地球システムと人間	2		◎				◎		○																		
		環境生物学	2		◎				◎		◎																		
		人間発達と人権	2		○			◎						○															
		教育学Ⅰ	2		◎									○															
		教育学Ⅱ	2		◎									○															
		現代代数学	※ 4																										
		数学特論	※ 4																										
		現代幾何学	※ 4																										
		現代解析学	※ 4																										
		教職物理学	※ 4																										
		化学実験	※ 2																										
		地学Ⅰ	※ 2																										
		地学Ⅱ	※ 2																										
		地学実験	※ 2																										
		生物学Ⅰ	※ 2																										
		生物学Ⅱ	※ 2																										
		生物学実験	※ 2																										
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン	1	◎			○																						
		キャリア形成支援	1	◎			○																						
		インターンシップ	2			◎	○																						
		グローバルテクノロジー論a	1					◎																					
		グローバルテクノロジー論b	1					◎																					
		OIT概論	1	◎																									
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1）	2）	3）	4）	5）	6）	A）	A-1）	A-2）	B）	B-1）	B-2）	C）	C-1）	C-2）	C-3）	D）	D-1）	D-2）	D-3）	D-4）	E）	E-1）	E-2）	E-3）	E-4）
基幹科目	電磁気学、電気回路、電子回路などの知識を身につけている。電子・情報通信分野の専門的知識を理解して課題解決に適用することができる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続を通じて課題解決能力を向上させることができる。.日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。	電子情報システム基礎演習	● 1		◎	◎					◎										○								
		電子情報システム実験Ⅰ	● 2	◎		◎	◎	◎									◎				○	○				◎			
		電子情報システム実験Ⅱ	● 2	◎		◎		◎													○	○		◎		◎			
		電子情報システム実験Ⅲ	● 2	◎		◎		◎													○	◎		○				◎	
		エレクトロニクスプラクティス	● 2	◎		◎		◎											◎		○					○		◎	
		電気回路Ⅰ	● 2		○	◎					○										◎								
		電気回路Ⅱ	● 2			◎															◎	○							
		電気磁気学Ⅰ	2		○	◎					○										◎								
		電気磁気学Ⅱ	2		○	◎					○										◎								
		基礎電子回路Ⅰ	2		○	◎					○										◎								
		基礎電子回路Ⅱ	2			◎															◎	○							
		固体エレクトロニクスⅠ	2			◎															○	◎							
		コンピュータ基礎	2			◎																○	◎						
		コンピュータアーキテクチャ	2			◎																◎	○						
		情報通信基礎	2		○	◎					○												◎						
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎															○				◎	○	
技術人材育成・資格関連	技術者として必要な社会倫理を理解し、専門職業人として社会に貢献する自覚ができている。	情報社会と倫理	2		○	◎			◎					○	◎														
		情報と職業	2		○	◎			◎					○	◎														
		電波・通信法規	2			◎			◎						◎								○						
エレクトロニクス系科目	電子デバイスなどハードウェアに必要な知識と技能が修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすことができる。	電気計測	2			◎															○	◎							
		電気磁気学Ⅲ	2			◎															○	◎	○						
		レーザ工学	2			◎															○	◎							
		光エレクトロニクス	2			◎															○	◎							
		電気回路Ⅲ	2			◎															○	◎							
		アナログ電子回路	2			◎															○	◎							
		ディジタル電子回路	2			◎															○	◎							
		電子回路設計	2			◎															○	◎							
		固体エレクトロニクスⅡ	2			◎															○	◎							
		半導体デバイス基礎	2			◎															○	◎							
		半導体デバイス工学	2			◎															○	◎							
		制御工学	2			◎																◎	○						
情報通信系科目	情報通信工学に必要な知識とソフトウェアやネットワークの技能が修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。	コンピュータシステム	2			◎																	◎	○					
		コンピュータグラフィクス	2			◎	○												○				◎						
		メディア情報開発	2			◎	○												○				◎						
		ネットワーク設計	2	○		◎		○															◎					○	
		ディジタル信号処理	2			◎																	◎	○					
		伝送理論	2		○	◎					○												◎						
		通信方式Ⅰ	2			◎																	◎	○					
		通信方式Ⅱ	2			◎																	◎	○					
		ネットワーク工学	2		○	◎						○											◎						
		電磁波工学	2			◎															○		◎						
		無線通信工学	2			◎															○		◎						
		情報理論	2			◎															○		◎	○					
卒業研究		卒業研究	4	○		◎	◎	○									○		◎					◎					○

（注）●：必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目）
（注）「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う。

電子情報システム工学科（実務コース）〔2022年度以降入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

（1）　実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕

（2）　人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕

（3）　専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕

（4）　技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕

（5）　社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕

（6）　地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕

◆注：「3）」を明細化したものが、各学科のDPとなる

（A）　数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。

A−1）数学や自然科学等の基礎的知識を応用することができる。〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕

A−2）コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索ができる。〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕

（B）　国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいて判断できる。

B−1）人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕

B−2）技術者として必要な社会倫理を理解し実践できる。〔技術者倫理の理解と実践力〕

（C）　国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。

C−1）日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕

C−2）外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕

C−3）技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的な内容の伝達能力〕

（D）　電子・情報通信分野の課題に取り組むために必要な専門知識と技能を蓄積している。

D−1）電気回路などの専門的な知識を身につけ活用できる。〔電気回路等の専門的知識と活用能力〕

D−2）電子デバイスや情報通信、ハードウェアやソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得し活用できる。〔電子・情報通信分野での知識・技能と活用能力〕

D−3）電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕

（E）　自主的な学習による問題解決能力を継続的に向上させることができる。

E−1）チームワークで課題解決の計画を立案してそれを遂行できる。〔チームワークによる課題解決能力〕

E−2）さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。〔独自の方法での課題解決能力〕

E−3）与えられた条件下で課題を解決できる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕

E−4）自主的な学修を継続することができる。〔自主的な学習の継続能力〕

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A−1)	A−2)	B)	B−1)	B−2)	C)	C−1)	C−2)	C−3)	D)	D−1)	D−2)	D−3)	E)	E−1)	E−2)	E−3)	E−4)
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文学的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△					◎														
		文章表現基礎	2	○	○		◎							◎														
		哲学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		倫理学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		美術史	2	○	◎		△	△	△					◎														
		文学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△					◎														
		法学（日本国憲法）	2	○	◎		△	△	△					◎														
		経済学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		歴史学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		心理学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△					◎														
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の文化と社会Ⅰ	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の文化と社会Ⅱ	2	○	◎		△	△	△					◎														
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○									◎										
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅠa	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅠb	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅡa	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅡb	1	△	○		◎		○									◎										
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○									◎										
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅠa	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅠb	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅡa	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅡb	1	△	○		◎		○									◎										
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○									◎										
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○									◎										
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○									◎										
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○									◎										
		海外語学研修	2	△	○		◎		○									◎										
		日本語Ⅰ	2	△	○		◎		○									◎										
		日本語Ⅱ	2	△	○		◎		○									◎										
		健康体育Ⅰ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		健康体育Ⅱ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		生涯スポーツⅠ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		生涯スポーツⅡ	1	△	○		◎	○	△					◎														
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○																						
		解析学Ⅰ演習	1	◎	○	△					◎																	
		解析学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅱ演習	1	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅲ	2	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅲ演習	1	◎	○	○					◎																	
		線形代数学Ⅰ	2	◎	○	○					◎																	
		線形代数学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																	
		微分方程式Ⅰ	2	○	◎	○					◎																	
		微分方程式Ⅱ	2	○	◎	○					◎																	
		物理学a	2	△	◎						◎																	
		物理学b	2	◎	◎	△					◎																	
		物理学c	2	○	◎	○					◎																	
		物理学d	2	○	◎	○					◎										○							
		物理学実験	2	△	△	○	◎	◎	○		◎																	
		化学	2	△	◎				○		◎																	
		地球科学	2		◎				◎		◎																	
		生物科学	2		◎				◎		◎																	
		工学倫理	2	△			△	○	◎		◎				○													
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○		◎				○													
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△						◎		○											
		基礎情報処理Ⅰ	1		◎							◎																
		基礎情報処理Ⅱ	1		◎							◎																

		品質管理	2	○	◎		△	△	○		○				◎													
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○					◎																	
		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○					◎																	
		淀川と人間	1	△	◎		△	△	○					◎														
		淀川と環境	1	△	○		△	△	◎					◎														
		エンジニアリング探求演習（PBL）	1	○	◎	◎	◎	◎	△																◎	◎	○	
		宇宙・地球・生命ー探究演習（PBL）	1	△	△		◎	◎	○																	○		
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○					○																	
		ベクトル解析	2	○	◎	○					○																	
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○					○																	
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○					○																	
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○					○																	
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○					○																	
		応用数学Ⅰ	2		○	◎					◎																	
		応用数学Ⅱ	2		○	◎					◎																	
		実践化学	2	△	◎				○		○																	
		地球システムと人間	2		◎				◎		○																	
		環境生物学	2		◎				◎		◎																	
		人間発達と人権	2		○				◎					○														
		教育学Ⅰ	2		◎									○														
		教育学Ⅱ	2		◎									○														
		現代代数学	※4																									
		数学特論	※4																									
		現代幾何学	※4																									
		現代解析学	※4																									
		教職物理学	※4																									
		化学実験	※2																									
		地学Ⅰ	※2																									
		地学Ⅱ	※2																									
		地学実験	※2																									
		生物学Ⅰ	※2																									
		生物学Ⅱ	※2																									
		生物学実験	※2																									
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン	1	◎			○																					
		キャリア形成支援	1	◎			○																					
		インターンシップ	2			◎	○																					
		グローバルテクノロジー論a	1					◎																				
		グローバルテクノロジー論b	1					◎																				
		OIT概論	1	◎																								
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1）	2）	3）	4）	5）	6）	A）	A-1）	A-2）	B）	B-1）	B-2）	C）	C-1）	C-2）	C-3）	D）	D-1）	D-2）	D-3）	E）	E-1）	E-2）	E-3）	E-4）
基幹科目	電気回路などの専門的な知識を身につけている。日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続をすることができる。	電子情報システム基礎演習	●1		◎	○					◎										○							
		電子情報システム実験Ⅰ	●2	◎		◎	◎	◎									◎				○	○			◎			
		電子情報システム実験Ⅱ	●2	◎		◎		◎													○	○	◎		◎			
		電子情報システム実験Ⅲ	●2	◎		◎		◎													○	◎	○				◎	
		エレクトロニクスプラクティス	●2	◎		◎		◎											◎		○				○		◎	
		電気回路Ⅰ	●2		○	◎					○										◎							
		電気回路Ⅱ	●2			◎															◎	○						
		電気磁気学Ⅰ	2		○	◎					○										◎							
		電気磁気学Ⅱ	2		○	◎					○										◎							
		基礎電子回路Ⅰ	2		○	◎					○										◎							
		基礎電子回路Ⅱ	2			◎															◎	○						
		固体エレクトロニクスⅠ	2			◎															○	◎						
		コンピュータ基礎	2			◎																◎						
		コンピュータアーキテクチャ	2			◎																◎						
		情報通信基礎	2		○	◎					○											◎						
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎														○				◎	○	
技術人材育成・資格関連科目	技術者として必要な社会倫理を理解している。	情報社会と倫理	2		○				◎					○	◎													
		情報と職業	2		○				◎					○	◎													
		電波・通信法規	2			○			◎						◎							○						
エレクトロニクス系科目	電子デバイスやハードウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすシステム技術を構想できる。	電気計測	2			◎															○	◎						
		電気磁気学Ⅲ	2			◎															○	◎						
		レーザ工学	2			◎															○	◎						
		光エレクトロニクス	2			◎															○	◎						
		電気回路Ⅲ	2			◎															○	◎						
		アナログ電子回路	2			◎															○	◎						
		ディジタル電子回路	2			◎															○	◎						
		電子回路設計	2			◎															○	◎						
		固体エレクトロニクスⅡ	2			◎															○	◎						
		半導体デバイス基礎	2			◎															○	◎						
		半導体デバイス工学	2			◎															○	◎						
		制御工学	2			◎																◎						
情報通信系科目	情報通信工学やソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。	コンピュータシステム	2			◎																◎	○					
		コンピュータグラフィクス	2			◎	○												○			◎						
		メディア情報開発	2			◎	○												○			◎						
		ネットワーク設計	2	○		◎		○														◎					○	
		ディジタル信号処理	2			◎																◎	○					
		伝送理論	2		○	◎					○											◎						
		通信方式Ⅰ	2			◎																◎	○					
		通信方式Ⅱ	2			◎																◎	○					
		ネットワーク工学	2		○	◎						○										◎						
		電磁波工学	2			◎															○	◎						
		無線通信工学	2			◎															○	◎						
		情報理論	2			◎															○	◎	○					
卒業研究		卒業研究	4	○		◎	◎	○									○		◎				◎					○

（注）●：必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目）
（注）「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う。

電子情報システム工学科（基幹コース）〔2019～2021年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

（1） 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
（2） 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
（3） 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕
（4） 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕
（5） 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
（6） 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕
◆注：「3）」を明細化したものが、各学科のDPとなる

（A） 数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。
A-1） 数学や自然科学等の基礎的知識を持ち、それらを応用することができる。〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕
A-2） コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索に習熟している。〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕
（B） 国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいた判断ができる。
B-1） 人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕
B-2） 技術者として必要な社会倫理を理解し、専門職業人として社会に貢献する自覚ができている。〔技術者倫理の理解と社会貢献の自覚〕
（C） 国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。
C-1） 日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕
C-2） 外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕
C-3） 技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的な内容の伝達能力〕
（D） 電子・情報通信分野の専門知識と技能を蓄積し、それらを総合して課題に取り組むことができる。
D-1） 電磁気学、電気回路、電子回路などの知識を身につけている。〔電磁気学・電気回路・電子回路の知識〕
D-2） 電子デバイスなどハードウェアに必要な知識と技能が修得できている。〔ハードウェアに必要な知識・技能〕
D-3） 情報通信工学に必要な知識とソフトウェアやネットワークの技能が修得できている。〔ソフトウェア・ネットワークの技能〕
D-4） 電子・情報通信分野の専門的知識を理解して課題解決に適用することができる。〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕
（E） 自主的な学習による課題解決能力を継続的に向上させることができる。
E-1） チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。〔チームワークによる課題解決能力〕
E-2） さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。〔独自の方法での課題解決能力〕
E-3） 与えられた条件下で課題を解決することができる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕
E-4） 自主的な学習の継続を通じて課題解決能力を向上させることができる。〔課題解決能力を向上させる能力〕

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A-1)	A-2)	B)	B-1)	B-2)	C)	C-1)	C-2)	C-3)	D)	D-1)	D-2)	D-3)	D-4)	E)	E-1)	E-2)	E-3)	E-4)
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文学的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△					◎															
		文章表現基礎	2	○	○		◎							◎															
		哲学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		倫理学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		美術史	2	○	◎		△	△	△					◎															
		文学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△					◎															
		法学（日本国憲法）	2	○	◎		△	△	△					◎															
		経済学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		歴史学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		心理学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△					◎															
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の文化と社会Ⅰ	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の文化と社会Ⅱ	2	○	◎		△	△	△					◎															
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○									◎											
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅠa	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅠb	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅡa	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅡb	1	△	○		◎		○									◎											
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○									◎											
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅠa	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅠb	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅡa	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅡb	1	△	○		◎		○									◎											
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○									◎											
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○									◎											
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○									◎											
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○									◎											
		海外語学研修	2	△	○		◎		○									◎											
		日本語Ⅰ	2	△	○		◎		○									◎											
		日本語Ⅱ	2	△	○		◎		○									◎											
		健康体育Ⅰ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		健康体育Ⅱ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		生涯スポーツⅠ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		生涯スポーツⅡ	1	△	○		◎	○	△					◎															
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○																							
		解析学Ⅰ演習	1	◎	○	△					◎																		
		解析学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅱ演習	1	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅲ	2	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅲ演習	1	◎	○	○					◎																		
		線形代数学Ⅰ	2	◎	○	○					◎																		
		線形代数学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																		
		微分方程式Ⅰ	2	○	◎	○					◎																		
		微分方程式Ⅱ	2	○	◎	○					◎																		
		物理学a	2	△	◎						◎																		
		物理学b	2	◎	◎	△					◎																		
		物理学c	2	○	◎	○					◎																		
		物理学d	2	○	◎	○					◎										○								
		物理学実験	2	△	△	○	◎	◎	○		◎																		
		化学	2	△	◎				○		◎																		
		地球科学	2		◎				◎		◎																		
		生物科学	2		◎				◎		◎																		
		工学倫理	2	△			△	○	◎		◎				○														
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○		◎				○														
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△						◎		○												
		基礎情報処理Ⅰ	1		◎							◎																	
		基礎情報処理Ⅱ	1		◎							◎																	
		品質管理	2	○	◎		△	△	○		○				◎														
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○					◎																		
		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○					◎																		
		淀川と人間	1	△	◎		△	△	○					◎															

		淀川と環境	1	△	○		△	△	◎					◎															
		エンジニアリング探求演習（PBL）	1	○	◎	◎	◎	◎	△																	◎	◎	○	
		宇宙・地球・生命ー探究演習（PBL）	1	△	△		◎	◎	○																		○		
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○					○																		
		ベクトル解析	2	○	◎	○					○																		
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○					○																		
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○					○																		
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○					○																		
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○					○																		
		応用数学Ⅰ	2		○	◎					◎																		
		応用数学Ⅱ	2		○	◎					◎																		
		実践化学	2	△	◎				○		○																		
		地球システムと人間	2		◎				◎		○																		
		環境生物学	2		◎				◎		◎																		
		人間発達と人権	2		○			◎						○															
		教育学Ⅰ	2		◎									○															
		教育学Ⅱ	2		◎									○															
		現代代数学	※ 4																										
		数学特論	※ 4																										
		現代幾何学	※ 4																										
		現代解析学	※ 4																										
		教職物理学	※ 4																										
		化学実験	※ 2																										
		地学Ⅰ	※ 2																										
		地学Ⅱ	※ 2																										
		地学実験	※ 2																										
		生物学Ⅰ	※ 2																										
		生物学Ⅱ	※ 2																										
		生物学実験	※ 2																										
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン	1	◎			○																						
		キャリア形成支援	1	◎			○																						
		インターンシップ	2			◎	○																						
		グローバルテクノロジー論a	1					◎																					
		グローバルテクノロジー論b	1					◎																					
		OIT概論	1	◎																									
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1）	2）	3）	4）	5）	6）	A）	A-1）	A-2）	B）	B-1）	B-2）	C）	C-1）	C-2）	C-3）	D）	D-1）	D-2）	D-3）	D-4）	E）	E-1）	E-2）	E-3）	E-4）
基幹科目	電磁気学、電気回路、電子回路などの知識を身につけている。電子・情報通信分野の専門的知識を理解して課題解決に適用することができる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続を通じて課題解決能力を向上させることができる。.日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。	電子情報システム基礎演習	● 1		◎	◎					◎										○								
		電子情報システム実験Ⅰ	● 2	◎		◎	◎	◎									◎				○	○				◎			
		電子情報システム実験Ⅱ	● 2	◎		◎		◎													○	○		◎		◎			
		電子情報システム実験Ⅲ	● 2	◎		◎		◎													○	◎		○				◎	
		エレクトロニクスプラクティス	● 2	◎		◎		◎											◎		○					○		◎	
		電気回路Ⅰ	● 2		○	◎					○										◎								
		電気回路Ⅱ	● 2			◎															◎	○							
		電気磁気学Ⅰ	2		○	◎					○										◎								
		電気磁気学Ⅱ	2		○	◎					○										◎								
		基礎電子回路Ⅰ	2		○	◎					○										◎								
		基礎電子回路Ⅱ	2			◎															◎	○							
		固体エレクトロニクスⅠ	2			◎															○	◎							
		コンピュータ基礎	2			◎																○	◎						
		コンピュータアーキテクチャ	2			◎																◎	○						
		情報通信基礎	2		○	◎					○												◎						
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電子回路演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎															○				◎	○	
技術人材育成・資格関連	技術者として必要な社会倫理を理解し、専門職業人として社会に貢献する自覚ができている。	情報社会と倫理	2		○	◎			◎					○	◎														
		情報と職業	2		○	◎			◎					○	◎														
		電波・通信法規	2			◎			◎						◎								○						
エレクトロニクス系科目	電子デバイスなどハードウェアに必要な知識と技能が修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすことができる。	電気計測	2			◎															○	◎							
		電気磁気学Ⅲ	2			◎															○	◎	○						
		レーザ工学	2			◎															○	◎							
		光エレクトロニクス	2			◎															○	◎							
		電気回路Ⅲ	2			◎															○	◎							
		アナログ電子回路	2			◎															○	◎							
		ディジタル電子回路	2			◎															○	◎							
		電子回路設計	2			◎															○	◎							
		固体エレクトロニクスⅡ	2			◎															○	◎							
		半導体デバイス基礎	2			◎															○	◎							
		半導体デバイス工学	2			◎															○	◎							
		量子エレクトロニクス入門	2			◎															○	◎							
		制御工学	2			◎																◎	○						
情報通信系科目	情報通信工学に必要な知識とソフトウェアやネットワークの技能が修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。	コンピュータシステム	2			◎																	◎	○					
		コンピュータグラフィクス	2			◎	○												○				◎						
		メディア情報開発	2			◎	○												○				◎						
		ネットワーク設計	2	○		◎		○															◎					○	
		ディジタル信号処理	2			◎																	◎	○					
		映像・音響工学	2			◎																	◎	○					
		伝送理論	2		○	◎					○												◎						
		通信方式Ⅰ	2			◎																	◎	○					
		通信方式Ⅱ	2			◎																	◎	○					
		ネットワーク工学	2		○	◎						○											◎						
		電磁波工学	2			◎															○		◎						
		無線通信工学	2			◎															○		◎						
		情報理論	2			◎															○		◎	○					
卒業研究		卒業研究	4	○		◎	◎	○									○		◎					◎					○

（注）●：必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目）
（注）「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う。

電子情報システム工学科（実務コース）〔2019～2021年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

（1）　実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕

（2）　人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕

（3）　専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕

（4）　技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕

（5）　社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕

（6）　地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕

◆注：「3）」を明細化したものが、各学科のDPとなる

（A）　数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。

A−1）数学や自然科学等の基礎的知識を応用することができる。〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕

A−2）コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索ができる。〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕

（B）　国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいて判断できる。

B−1）人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕

B−2）技術者として必要な社会倫理を理解し実践できる。〔技術者倫理の理解と実践力〕

（C）　国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。

C−1）日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕

C−2）外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕

C−3）技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的な内容の伝達能力〕

（D）　電子・情報通信分野の課題に取り組むために必要な専門知識と技能を蓄積している。

D−1）電気回路などの専門的な知識を身につけ活用できる。〔電気回路等の専門的知識と活用能力〕

D−2）電子デバイスや情報通信、ハードウェアやソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得し活用できる。〔電子・情報通信分野での知識・技能と活用能力〕

D−3）電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕

（E）　自主的な学習による問題解決能力を継続的に向上させることができる。

E−1）チームワークで課題解決の計画を立案してそれを遂行できる。〔チームワークによる課題解決能力〕

E−2）さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。〔独自の方法での課題解決能力〕

E−3）与えられた条件下で課題を解決できる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕

E−4）自主的な学修を継続することができる。〔自主的な学習の継続能力〕

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A−1)	A−2)	B)	B−1)	B−2)	C)	C−1)	C−2)	C−3)	D)	D−1)	D−2)	D−3)	E)	E−1)	E−2)	E−3)	E−4)
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文学的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△					◎														
		文章表現基礎	2	○	○		◎							◎														
		哲学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		倫理学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		美術史	2	○	◎		△	△	△					◎														
		文学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△					◎														
		法学（日本国憲法）	2	○	◎		△	△	△					◎														
		経済学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		歴史学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		心理学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△					◎														
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の文化と社会Ⅰ	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の文化と社会Ⅱ	2	○	◎		△	△	△					◎														
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○									◎										
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅠa	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅠb	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅡa	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅡb	1	△	○		◎		○									◎										
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○									◎										
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅠa	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅠb	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅡa	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅡb	1	△	○		◎		○									◎										
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○									◎										
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○									◎										
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○									◎										
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○									◎										
		海外語学研修	2	△	○		◎		○									◎										
		日本語Ⅰ	2	△	○		◎		○									◎										
		日本語Ⅱ	2	△	○		◎		○									◎										
		健康体育Ⅰ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		健康体育Ⅱ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		生涯スポーツⅠ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		生涯スポーツⅡ	1	△	○		◎	○	△					◎														
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○																						
		解析学Ⅰ演習	1	◎	○	△					◎																	
		解析学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅱ演習	1	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅲ	2	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅲ演習	1	◎	○	○					◎																	
		線形代数学Ⅰ	2	◎	○	○					◎																	
		線形代数学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																	
		微分方程式Ⅰ	2	○	◎	○					◎																	
		微分方程式Ⅱ	2	○	◎	○					◎																	
		物理学a	2	△	◎						◎																	
		物理学b	2	◎	◎	△					◎																	
		物理学c	2	○	◎	○					◎																	
		物理学d	2	○	◎	○					◎										○							
		物理学実験	2	△	△	○	◎	◎	○		◎																	
		化学	2	△	◎				○		◎																	
		地球科学	2		◎				◎		◎																	
		生物科学	2		◎				◎		◎																	
		工学倫理	2	△			△	○	◎		◎				○													
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○		◎				○													
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△						◎		○											
		基礎情報処理Ⅰ	1		◎							◎																
		基礎情報処理Ⅱ	1		◎							◎																

		品質管理	2	○	◎		△	△	○		○				◎													
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○					◎																	
		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○					◎																	
		淀川と人間	1	△	◎		△	△	○					◎														
		淀川と環境	1	△	○		△	△	◎					◎														
		エンジニアリング探求演習（PBL）	1	○	◎	◎	◎	◎	△																◎	◎	○	
		宇宙・地球・生命ー探究演習（PBL）	1	△	△		◎	◎	○																	○		
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○					○																	
		ベクトル解析	2	○	◎	○					○																	
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○					○																	
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○					○																	
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○					○																	
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○					○																	
		応用数学Ⅰ	2		○	◎					◎																	
		応用数学Ⅱ	2		○	◎					◎																	
		実践化学	2	△	◎				○		○																	
		地球システムと人間	2		◎				◎		○																	
		環境生物学	2		◎				◎		◎																	
		人間発達と人権	2		○				◎					○														
		教育学Ⅰ	2		◎									○														
		教育学Ⅱ	2		◎									○														
		現代代数学	※4																									
		数学特論	※4																									
		現代幾何学	※4																									
		現代解析学	※4																									
		教職物理学	※4																									
		化学実験	※2																									
		地学Ⅰ	※2																									
		地学Ⅱ	※2																									
		地学実験	※2																									
		生物学Ⅰ	※2																									
		生物学Ⅱ	※2																									
		生物学実験	※2																									
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン	1	◎			○																					
		キャリア形成支援	1	◎			○																					
		インターンシップ	2			◎	○																					
		グローバルテクノロジー論a	1					◎																				
		グローバルテクノロジー論b	1					◎																				
		OIT概論	1	◎																								
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1）	2）	3）	4）	5）	6）	A）	A-1）	A-2）	B）	B-1）	B-2）	C）	C-1）	C-2）	C-3）	D）	D-1）	D-2）	D-3）	E）	E-1）	E-2）	E-3）	E-4）
基幹科目	電気回路などの専門的な知識を身につけている。日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続をすることができる。	電子情報システム基礎演習	●1		◎	○					◎										○							
		電子情報システム実験Ⅰ	●2	◎		◎	◎	◎									◎				○	○			◎			
		電子情報システム実験Ⅱ	●2	◎		◎		◎													○	○	◎		◎			
		電子情報システム実験Ⅲ	●2	◎		◎		◎													○	◎	○				◎	
		エレクトロニクスプラクティス	●2	◎		◎		◎											◎		○				○		◎	
		電気回路Ⅰ	●2		○	◎					○										◎							
		電気回路Ⅱ	●2			◎															◎	○						
		電気磁気学Ⅰ	2		○	◎					○										◎							
		電気磁気学Ⅱ	2		○	◎					○										◎							
		基礎電子回路Ⅰ	2		○	◎					○										◎							
		基礎電子回路Ⅱ	2			◎															◎	○						
		固体エレクトロニクスⅠ	2			◎															○	◎						
		コンピュータ基礎	2			◎																◎						
		コンピュータアーキテクチャ	2			◎																◎						
		情報通信基礎	2		○	◎					○											◎						
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電子回路演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎														○				◎	○	
技術人材育成・資格関連科目	技術者として必要な社会倫理を理解している。	情報社会と倫理	2		○				◎					○	◎													
		情報と職業	2		○				◎					○	◎													
		電波・通信法規	2			○			◎						◎							○						
エレクトロニクス系科目	電子デバイスやハードウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすシステム技術を構想できる。	電気計測	2			◎															○	◎						
		電気磁気学Ⅲ	2			◎															○	◎						
		レーザ工学	2			◎															○	◎						
		光エレクトロニクス	2			◎															○	◎						
		電気回路Ⅲ	2			◎															○	◎						
		アナログ電子回路	2			◎															○	◎						
		ディジタル電子回路	2			◎															○	◎						
		電子回路設計	2			◎															○	◎						
		固体エレクトロニクスⅡ	2			◎															○	◎						
		半導体デバイス基礎	2			◎															○	◎						
		半導体デバイス工学	2			◎															○	◎						
		量子エレクトロニクス入門	2			◎															○	◎						
		制御工学	2			◎																◎						
情報通信系科目	情報通信工学やソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。	コンピュータシステム	2			◎																◎	○					
		コンピュータグラフィクス	2			◎	○												○			◎						
		メディア情報開発	2			◎	○												○			◎						
		ネットワーク設計	2	○		◎		○														◎					○	
		ディジタル信号処理	2			◎																◎	○					
		伝送理論	2		○	◎					○											◎						
		通信方式Ⅰ	2			◎																◎	○					
		通信方式Ⅱ	2			◎																◎	○					
		ネットワーク工学	2		○	◎						○										◎						
		電磁波工学	2			◎															○	◎						
		無線通信工学	2			◎															○	◎						
		情報理論	2			◎															○	◎	○					
		映像・音響工学	2			◎																◎	○					
卒業研究		卒業研究	4	○		◎	◎	○									○		◎				◎					○

（注）●：必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目）
（注）「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う。

電子情報通信工学科（基幹コース）〔2018年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

（1） 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
（2） 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
（3） 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕
（4） 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕
（5） 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
（6） 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕
◆注：「3）」を明細化したものが、各学科のDPとなる

（A） 数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。
A-1） 数学や自然科学等の基礎的知識を持ち、それらを応用することができる。〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕
A-2） コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索に習熟している。〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕
（B） 国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいた判断ができる。
B-1） 人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕
B-2） 技術者として必要な社会倫理を理解し、専門職業人として社会に貢献する自覚ができている。〔技術者倫理の理解と社会貢献の自覚〕
（C） 国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。
C-1） 日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕
C-2） 外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕
C-3） 技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的な内容の伝達能力〕
（D） 電子・情報通信分野の専門知識と技能を蓄積し、それらを総合して課題に取り組むことができる。
D-1） 電磁気学、電気回路、電子回路などの知識を身につけている。〔電磁気学・電気回路・電子回路の知識〕
D-2） 電子デバイスなどハードウェアに必要な知識と技能が修得できている。〔ハードウェアに必要な知識・技能〕
D-3） 情報通信工学に必要な知識とソフトウェアやネットワークの技能が修得できている。〔ソフトウェア・ネットワークの技能〕
D-4） 電子・情報通信分野の専門的知識を理解して課題解決に適用することができる。〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕
（E） 自主的な学習による課題解決能力を継続的に向上させることができる。
E-1） チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。〔チームワークによる課題解決能力〕
E-2） さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。〔独自の方法での課題解決能力〕
E-3） 与えられた条件下で課題を解決することができる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕
E-4） 自主的な学習の継続を通じて課題解決能力を向上させることができる。〔課題解決能力を向上させる能力〕

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A-1)	A-2)	B)	B-1)	B-2)	C)	C-1)	C-2)	C-3)	D)	D-1)	D-2)	D-3)	D-4)	E)	E-1)	E-2)	E-3)	E-4)
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文学的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△					◎															
		文章表現基礎	2	○	○		◎							◎															
		哲学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		倫理学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		美術史	2	○	◎		△	△	△					◎															
		文学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△					◎															
		法学（日本国憲法）	2	○	◎		△	△	△					◎															
		経済学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		歴史学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		心理学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△					◎															
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の文化と社会Ⅰ	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の文化と社会Ⅱ	2	○	◎		△	△	△					◎															
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○									◎											
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅠa	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅠb	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅡa	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅡb	1	△	○		◎		○									◎											
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○									◎											
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅠa	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅠb	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅡa	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅡb	1	△	○		◎		○									◎											
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○									◎											
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○									◎											
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○									◎											
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○									◎											
		海外語学研修	2	△	○		◎		○									◎											
		日本語Ⅰ	2	△	○		◎		○									◎											
		日本語Ⅱ	2	△	○		◎		○									◎											
		健康体育Ⅰ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		健康体育Ⅱ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		生涯スポーツⅠ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		生涯スポーツⅡ	1	△	○		◎	○	△					◎															
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○																							
		解析学Ⅰ演習	1	◎	○	△					◎																		
		解析学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅱ演習	1	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅲ	2	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅲ演習	1	◎	○	○					◎																		
		線形代数学Ⅰ	2	◎	○	○					◎																		
		線形代数学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																		
		微分方程式Ⅰ	2	○	◎	○					◎																		
		微分方程式Ⅱ	2	○	◎	○					◎																		
		物理学a	2	△	◎						◎																		
		物理学b	2	◎	◎	△					◎																		
		物理学c	2	○	◎	○					◎																		
		物理学d	2	○	◎	○					◎										○								
		物理学実験	2	△	△	○	◎	◎	○		◎																		
		化学	2	△	◎				○		◎																		
		地球科学	2		◎				◎		◎																		
		生物科学	2		◎				◎		◎																		
		工学倫理	2	△			△	○	◎		◎				○														
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○		◎				○														
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△						◎		○												
		基礎情報処理Ⅰ	1		◎							◎																	
		基礎情報処理Ⅱ	1		◎							◎																	
		品質管理	2	○	◎		△	△	○		○				◎														
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○					◎																		
		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○					◎																		
		淀川と人間	1	△	◎		△	△	○					◎															

		淀川と環境	1	△	○		△	△	◎					◎															
		エンジニアリング探求演習（PBL）	1	○	◎	◎	◎	◎	△																	◎	◎	○	
		宇宙・地球・生命－探求演習（PBL）	1	△	△		◎	◎	○																		○		
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○					○																		
		ベクトル解析	2	○	◎	○					○																		
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○					○																		
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○					○																		
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○					○																		
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○					○																		
		応用数学Ⅰ	2		○	◎					◎																		
		応用数学Ⅱ	2		○	◎					◎																		
		実践化学	2	△	◎				○		○																		
		地球システムと人間	2		◎				◎		○																		
		環境生物学	2		◎				◎		◎																		
		人間発達と人権	2		○			◎						○															
		教育学Ⅰ	2		◎									○															
		教育学Ⅱ	2		◎									○															
		現代代数学	※ 4																										
		数学特論	※ 4																										
		現代幾何学	※ 4																										
		現代解析学	※ 4																										
		教職物理学	※ 4																										
		化学実験	※ 2																										
		地学Ⅰ	※ 2																										
		地学Ⅱ	※ 2																										
		地学実験	※ 2																										
		生物学Ⅰ	※ 2																										
		生物学Ⅱ	※ 2																										
		生物学実験	※ 2																										
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン	1	◎			○																						
		キャリア形成支援	1	◎			○																						
		インターンシップ	2			◎	○																						
		グローバルテクノロジー論a	1					◎																					
		グローバルテクノロジー論b	1					◎																					
		OIT概論	1	◎																									
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1）	2）	3）	4）	5）	6）	A）	A-1）	A-2）	B）	B-1）	B-2）	C）	C-1）	C-2）	C-3）	D）	D-1）	D-2）	D-3）	D-4）	E）	E-1）	E-2）	E-3）	E-4）
基幹科目	電磁気学、電気回路、電子回路などの知識を身につけている。電子・情報通信分野の専門的知識を理解して課題解決に適用することができる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続を通じて課題解決能力を向上させることができる。.日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。	電子情報通信基礎演習	● 1		◎	◎					◎										○								
		電子情報通信実験Ⅰ	● 2	◎		◎	◎	◎									◎				○	○				◎			
		電子情報通信実験Ⅱ	● 2	◎		◎		◎													○	○		◎		◎			
		電子情報通信実験Ⅲ	● 2	◎		◎		◎													○	◎		○				◎	
		エレクトロニクスプラクティス	● 2	◎		◎		◎											◎		○					○		◎	
		電気回路Ⅰ	● 2		○	◎					○										◎								
		電気回路Ⅱ	● 2			◎															◎	○							
		電気磁気学Ⅰ	2		○	◎					○										◎								
		電気磁気学Ⅱ	2		○	◎					○										◎								
		基礎電子回路Ⅰ	2		○	◎					○										◎								
		基礎電子回路Ⅱ	2			◎															◎	○							
		固体エレクトロニクスⅠ	2			◎															○	◎							
		コンピュータ基礎	2			◎																○	◎						
		コンピュータアーキテクチャ	2			◎																◎	○						
		情報通信基礎	2		○	◎					○												◎						
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電子回路演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎															○				◎	○	
技術人材育成・資格関連	技術者として必要な社会倫理を理解し、専門職業人として社会に貢献する自覚ができている。	情報社会と倫理	2		○	◎			◎					○	◎														
		情報と職業	2		○	◎			◎					○	◎														
		電波・通信法規	2			◎			◎						◎								○						
エレクトロニクス系科目	電子デバイスなどハードウェアに必要な知識と技能が修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすことができる。	電気計測	2			◎															○	◎							
		電気磁気学Ⅲ	2			◎															○	◎	○						
		レーザ工学	2			◎															○	◎							
		光エレクトロニクス	2			◎															○	◎							
		電気回路Ⅲ	2			◎															○	◎							
		アナログ電子回路	2			◎															○	◎							
		ディジタル電子回路	2			◎															○	◎							
		電子回路設計	2			◎															○	◎							
		固体エレクトロニクスⅡ	2			◎															○	◎							
		半導体デバイス基礎	2			◎															○	◎							
		半導体デバイス工学	2			◎															○	◎							
		量子エレクトロニクス入門	2			◎															○	◎							
		制御工学	2			◎																◎	○						
情報通信系科目	情報通信工学に必要な知識とソフトウェアやネットワークの技能が修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。	コンピュータシステム	2			◎																	◎	○					
		コンピュータグラフィクス	2			◎	○												○				◎						
		メディア情報開発	2			◎	○												○				◎						
		ネットワーク設計	2	○		◎		○															◎					○	
		ディジタル信号処理	2			◎																	◎	○					
		映像・音響工学	2			◎																	◎	○					
		伝送理論	2		○	◎					○												◎						
		通信方式Ⅰ	2			◎																	◎	○					
		通信方式Ⅱ	2			◎																	◎	○					
		ネットワーク工学	2		○	◎						○											◎						
		電磁波工学	2			◎															○		◎						
		無線通信工学	2			◎															○		◎						
		情報理論	2			◎															○		◎	○					
卒業研究		卒業研究	4	○		◎	◎	○									○		◎					◎					○

（注）●：必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目）
（注）「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う。

電子情報通信工学科（実務コース）〔2018年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

（1）　実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕

（2）　人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕

（3）　専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕

（4）　技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕

（5）　社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕

（6）　地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕

◆注：「3）」を明細化したものが、各学科のDPとなる

（A）　数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。

A−1）数学や自然科学等の基礎的知識を応用することができる。〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕

A−2）コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索ができる。〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕

（B）　国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいて判断できる。

B−1）人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕

B−2）技術者として必要な社会倫理を理解し実践できる。〔技術者倫理の理解と実践力〕

（C）　国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。

C−1）日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕

C−2）外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕

C−3）技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的な内容の伝達能力〕

（D）　電子・情報通信分野の課題に取り組むために必要な専門知識と技能を蓄積している。

D−1）電気回路などの専門的な知識を身につけ活用できる。〔電気回路等の専門的知識と活用能力〕

D−2）電子デバイスや情報通信、ハードウェアやソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得し活用できる。〔電子・情報通信分野での知識・技能と活用能力〕

D−3）電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕

（E）　自主的な学習による問題解決能力を継続的に向上させることができる。

E−1）チームワークで課題解決の計画を立案してそれを遂行できる。〔チームワークによる課題解決能力〕

E−2）さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。〔独自の方法での課題解決能力〕

E−3）与えられた条件下で課題を解決できる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕

E−4）自主的な学修を継続することができる。〔自主的な学習の継続能力〕

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A−1)	A−2)	B)	B−1)	B−2)	C)	C−1)	C−2)	C−3)	D)	D−1)	D−2)	D−3)	E)	E−1)	E−2)	E−3)	E−4)
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文学的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△					◎														
		文章表現基礎	2	○	○		◎							◎														
		哲学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		倫理学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		美術史	2	○	◎		△	△	△					◎														
		文学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△					◎														
		法学（日本国憲法）	2	○	◎		△	△	△					◎														
		経済学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		歴史学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		心理学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△					◎														
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の文化と社会Ⅰ	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の文化と社会Ⅱ	2	○	◎		△	△	△					◎														
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○									◎										
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅠa	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅠb	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅡa	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅡb	1	△	○		◎		○									◎										
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○									◎										
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅠa	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅠb	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅡa	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅡb	1	△	○		◎		○									◎										
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○									◎										
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○									◎										
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○									◎										
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○									◎										
		海外語学研修	2	△	○		◎		○									◎										
		日本語Ⅰ	2	△	○		◎		○									◎										
		日本語Ⅱ	2	△	○		◎		○									◎										
		健康体育Ⅰ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		健康体育Ⅱ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		生涯スポーツⅠ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		生涯スポーツⅡ	1	△	○		◎	○	△					◎														
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○																						
		解析学Ⅰ演習	1	◎	○	△					◎																	
		解析学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅱ演習	1	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅲ	2	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅲ演習	1	◎	○	○					◎																	
		線形代数学Ⅰ	2	◎	○	○					◎																	
		線形代数学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																	
		微分方程式Ⅰ	2	○	◎	○					◎																	
		微分方程式Ⅱ	2	○	◎	○					◎																	
		物理学a	2	△	◎						◎																	
		物理学b	2	◎	◎	△					◎																	
		物理学c	2	○	◎	○					◎																	
		物理学d	2	○	◎	○					◎										○							
		物理学実験	2	△	△	○	◎	◎	○		◎																	
		化学	2	△	◎				○		◎																	
		地球科学	2		◎				◎		◎																	
		生物科学	2		◎				◎		◎																	
		工学倫理	2	△			△	○	◎		◎				○													
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○		◎				○													
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△						◎		○											
		基礎情報処理Ⅰ	1		◎							◎																
		基礎情報処理Ⅱ	1		◎							◎																

		品質管理	2	○	◎		△	△	○		○				◎													
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○					◎																	
		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○					◎																	
		淀川と人間	1	△	◎		△	△	○					◎														
		淀川と環境	1	△	○		△	△	◎					◎														
		エンジニアリング探求演習（PBL）	1	○	◎	◎	◎	◎	△																◎	◎	○	
		宇宙・地球・生命ー探求演習（PBL）	1	△	△		◎	◎	○																	○		
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○					○																	
		ベクトル解析	2	○	◎	○					○																	
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○					○																	
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○					○																	
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○					○																	
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○					○																	
		応用数学Ⅰ	2		○	◎					◎																	
		応用数学Ⅱ	2		○	◎					◎																	
		実践化学	2	△	◎				○		○																	
		地球システムと人間	2		◎				◎		○																	
		環境生物学	2		◎				◎		◎																	
		人間発達と人権	2		○				◎					○														
		教育学Ⅰ	2		◎									○														
		教育学Ⅱ	2		◎									○														
		現代代数学	※4																									
		数学特論	※4																									
		現代幾何学	※4																									
		現代解析学	※4																									
		教職物理学	※4																									
		化学実験	※2																									
		地学Ⅰ	※2																									
		地学Ⅱ	※2																									
		地学実験	※2																									
		生物学Ⅰ	※2																									
		生物学Ⅱ	※2																									
		生物学実験	※2																									
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン	1	◎			○																					
		キャリア形成支援	1	◎			○																					
		インターンシップ	2			◎	○																					
		グローバルテクノロジー論a	1					◎																				
		グローバルテクノロジー論b	1					◎																				
		OIT概論	1	◎																								
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1）	2）	3）	4）	5）	6）	A）	A-1）	A-2）	B）	B-1）	B-2）	C）	C-1）	C-2）	C-3）	D）	D-1）	D-2）	D-3）	E）	E-1）	E-2）	E-3）	E-4）
基幹科目	電気回路などの専門的な知識を身につけている。日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続をすることができる。	電子情報通信基礎演習	●1		◎	○					◎										○							
		電子情報通信実験Ⅰ	●2	◎		◎	◎	◎									◎				○	○			◎			
		電子情報通信実験Ⅱ	●2	◎		◎		◎													○	○	◎		◎			
		電子情報通信実験Ⅲ	●2	◎		◎		◎													○	◎	○				◎	
		エレクトロニクスプラクティス	●2	◎		◎		◎											◎		○				○		◎	
		電気回路Ⅰ	●2		○	◎					○										◎							
		電気回路Ⅱ	●2			◎															◎	○						
		電気磁気学Ⅰ	2		○	◎					○										◎							
		電気磁気学Ⅱ	2		○	◎					○										◎							
		基礎電子回路Ⅰ	2		○	◎					○										◎							
		基礎電子回路Ⅱ	2			◎															◎	○						
		固体エレクトロニクスⅠ	2			◎															○	◎						
		コンピュータ基礎	2			◎																◎						
		コンピュータアーキテクチャ	2			◎																◎						
		情報通信基礎	2		○	◎					○											◎						
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電子回路演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎														○				◎	○	
技術人材育成・資格関連科目	技術者として必要な社会倫理を理解している。	情報社会と倫理	2		○				◎					○	◎													
		情報と職業	2		○				◎					○	◎													
		電波・通信法規	2			○			◎						◎							○						
エレクトロニクス系科目	電子デバイスやハードウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすシステム技術を構想できる。	電気計測	2			◎															○	◎						
		電気磁気学Ⅲ	2			◎															○	◎						
		レーザ工学	2			◎															○	◎						
		光エレクトロニクス	2			◎															○	◎						
		電気回路Ⅲ	2			◎															○	◎						
		アナログ電子回路	2			◎															○	◎						
		ディジタル電子回路	2			◎															○	◎						
		電子回路設計	2			◎															○	◎						
		固体エレクトロニクスⅡ	2			◎															○	◎						
		半導体デバイス基礎	2			◎															○	◎						
		半導体デバイス工学	2			◎															○	◎						
		量子エレクトロニクス入門	2			◎															○	◎						
		制御工学	2			◎																◎						
情報通信系科目	情報通信工学やソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。	コンピュータシステム	2			◎																◎	○					
		コンピュータグラフィクス	2			◎	○												○			◎						
		メディア情報開発	2			◎	○												○			◎						
		ネットワーク設計	2	○		◎		○														◎					○	
		ディジタル信号処理	2			◎																◎	○					
		伝送理論	2		○	◎					○											◎						
		通信方式Ⅰ	2			◎																◎	○					
		通信方式Ⅱ	2			◎																◎	○					
		ネットワーク工学	2		○	◎						○										◎						
		電磁波工学	2			◎															○	◎						
		無線通信工学	2			◎															○	◎						
		情報理論	2			◎															○	◎	○					
		映像・音響工学	2			◎																◎	○					
卒業研究		卒業研究	4	○		◎	◎	○									○		◎				◎					○

（注）●：必修科目、単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目）
（注）「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う。

電子情報通信工学科（基幹コース）〔2014～2017年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

（1）　実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
（2）　人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
（3）　専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕
（4）　技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕
（5）　社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
（6）　地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕
◆注：「3）」を明細化したものが、各学科のDPとなる
（A）　数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。
A−1）数学や自然科学等の基礎的知識を持ち、それらを応用することができる。〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕
A−2）コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索に習熟している。〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕
（B）　国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいた判断ができる。
B−1）人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕
B−2）技術者として必要な社会倫理を理解し、専門職業人として社会に貢献する自覚ができている。〔技術者倫理の理解と社会貢献の自覚〕
（C）　国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。
C−1）日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕
C−2）外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕
C−3）技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的な内容の伝達能力〕
（D）　電子・情報通信分野の専門知識と技能を蓄積し、それらを総合して課題に取り組むことができる。
D−1）電磁気学、電気回路、電子回路などの知識を身につけている。〔電磁気学・電気回路・電子回路の知識〕
D−2）電子デバイスなどハードウェアに必要な知識と技能が修得できている。〔ハードウェアに必要な知識・技能〕
D−3）情報通信工学に必要な知識とソフトウェアやネットワークの技能が修得できている。〔ソフトウェア・ネットワークの技能〕
D−4）電子・情報通信分野の専門的知識を理解して課題解決に適用することができる。〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕
（E）　自主的な学習による課題解決能力を継続的に向上させることができる。
E−1）チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。〔チームワークによる課題解決能力〕
E−2）さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。〔独自の方法での課題解決能力〕
E−3）与えられた条件下で課題を解決することができる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕
E−4）自主的な学習の継続を通じて課題解決能力を向上させることができる。〔課題解決能力を向上させる能力〕

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A−1)	A−2)	B)	B−1)	B−2)	C)	C−1)	C−2)	C−3)	D)	D−1)	D−2)	D−3)	D−4)	E)	E−1)	E−2)	E−3)	E−4)
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文学的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△					◎															
		文章表現基礎	2	○	○		◎							◎															
		哲学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		倫理学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		美術史	2	○	◎		△	△	△					◎															
		文学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		言語の世界（廃講）	2	○	◎		△	△	△																				
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△					◎															
		法学（日本国憲法）	2	○	◎		△	△	△					◎															
		経済学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		歴史学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		心理学	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△					◎															
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の文化と社会Ⅰ	2	○	◎		△	△	△					◎															
		日本の文化と社会Ⅱ	2	○	◎		△	△	△					◎															
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○									◎											
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅠa	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅠb	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅡa	1	△	○		◎		○									◎											
		オーラル・コミュニケーションⅡb	1	△	○		◎		○									◎											
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○									◎											
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅠa	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅠb	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅡa	1	△	○		◎		○									◎											
		キャリア・イングリッシュⅡb	1	△	○		◎		○									◎											
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○									◎											
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○									◎											
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○									◎											
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○									◎											
		海外語学研修	2	△	○		◎		○									◎											
		日本語Ⅰ	2	△	○		◎		○									◎											
		日本語Ⅱ	2	△	○		◎		○									◎											
		健康体育Ⅰ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		健康体育Ⅱ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		生涯スポーツⅠ	1	△	○		◎	○	△					◎															
		生涯スポーツⅡ	1	△	○		◎	○	△					◎															
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○					◎																	
		解析学Ⅰ演習	1	◎	○	△					◎																		
		解析学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅱ演習	1	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅲ	2	◎	○	○					◎																		
		解析学Ⅲ演習	1	◎	○	○					◎																		
		線形代数学Ⅰ	2	◎	○	○					◎																		
		線形代数学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																		
		微分方程式Ⅰ	2	○	◎	○					◎																		
		微分方程式Ⅱ	2	○	◎	○					◎																		
		物理学a	2	△	◎						◎																		
		物理学b	2	◎	◎	△					◎																		
		物理学c	2	○	◎	○					◎																		
		物理学d	2	○	◎	○					◎										○								
		物理学実験	2	△	△	○	◎	◎	○		◎																		
		化学	2	△	◎				○		◎																		
		地球科学	2		◎				◎		◎																		
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2		◎				◎		◎																		
		工学倫理	2	△			△	○	◎		◎				○														
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○		◎				○														
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△						◎		○												
		基礎情報処理Ⅰ	1		◎							◎																	
		基礎情報処理Ⅱ	1		◎							◎																	
		品質管理	2	○	◎		△	△	○		○				◎														
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○					◎																		
		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○					◎																		

		淀川と人間	1	△	◎		△	△	○					◎															
		淀川と環境	1	△	○		△	△	◎					◎															
		エンジニアリング探求演習（PBL）	1	○	◎	◎	◎	◎	△																	◎	◎	○	
		宇宙・地球・生命ー探求演習（PBL）	1	△	△		◎	◎	○																		○		
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○					○																		
		ベクトル解析	2	○	◎	○					○																		
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○					○																		
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○					○																		
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○					○																		
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○					○																		
		応用数学Ⅰ	2		○	◎					◎																		
		応用数学Ⅱ	2		○	◎					◎																		
		実践化学	2	△	◎				○		○																		
		地球システムと人間	2		◎				◎		○																		
		環境生物学	2		◎				◎		◎																		
		人間発達と人権	2		○			◎						○															
		教育学Ⅰ	2		◎									○															
		教育学Ⅱ	2		◎									○															
		現代代数学	※ 4																										
		数学特論	※ 4																										
		現代幾何学	※ 4																										
		現代解析学	※ 4																										
		教職物理学	※ 4																										
		化学実験	※ 2																										
		地学Ⅰ	※ 2																										
		地学Ⅱ	※ 2																										
		地学実験	※ 2																										
		生物学Ⅰ	※ 2																										
		生物学Ⅱ	※ 2																										
		生物学実験	※ 2																										
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン（2016～）	1	◎			○																						
		キャリアデザインⅠ（～2015）	1	◎			○																						
		キャリア形成支援（2016～）	1	◎			○																						
		キャリアデザインⅡ（～2015）	1	◎			○																						
		インターンシップ	2			◎	○																						
		グローバルテクノロジー論a	1					◎																					
		グローバルテクノロジー論b	1					◎																					
		OIT概論	1	◎																									
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1）	2）	3）	4）	5）	6）	A）	A-1）	A-2）	B）	B-1）	B-2）	C）	C-1）	C-2）	C-3）	D）	D-1）	D-2）	D-3）	D-4）	E）	E-1）	E-2）	E-3）	E-4）
基幹科目	電磁気学、電気回路、電子回路などの知識を身につけている。電子・情報通信分野の専門的知識を理解して課題解決に適用することができる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続を通じて課題解決能力を向上させることができる。.日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。	電子情報通信基礎演習	● 1		◎	◎					◎										○								
		電子情報通信実験Ⅰ	● 2	◎		◎	◎	◎									◎				○	○				◎			
		電子情報通信実験Ⅱ	● 2	◎		◎		◎													○	○		◎		◎			
		電子情報通信実験Ⅲ	● 2	◎		◎		◎													○	◎		○				◎	
		エレクトロニクスプラクティス	● 2	◎		◎		◎											◎		○					○		◎	
		電気回路Ⅰ	● 2		○	◎					○										◎								
		電気回路Ⅱ	● 2			◎															◎	○							
		電気磁気学Ⅰ	2		○	◎					○										◎								
		電気磁気学Ⅱ	2		○	◎					○										◎								
		基礎電子回路Ⅰ	2		○	◎					○										◎								
		基礎電子回路Ⅱ	2			◎															◎	○							
		固体エレクトロニクスⅠ	2			◎															○	◎							
		コンピュータ基礎	2			◎																○	◎						
		コンピュータアーキテクチャ	2			◎																◎	○						
		情報通信基礎	2		○	◎					○												◎						
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		電子回路演習	1	◎		◎		◎													○			○					◎
		コンピュータ演習（～2016）	1		○	◎						○											◎						
		プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎															○				◎	○	
技術人材育成・資格関連科目	技術者として必要な社会倫理を理解し、専門職業人として社会に貢献する自覚ができている。	情報社会と倫理	2		○	◎			◎					○	◎														
		情報と職業	2		○	◎			◎					○	◎														
		電波・通信法規	2			◎			◎						◎								○						
エレクトロニクス系科目	電子デバイスなどハードウェアに必要な知識と技能が修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすことができる。	電気計測	2			◎															○	◎							
		電気磁気学Ⅲ	2			◎															○	◎	○						
		レーザ工学	2			◎															○	◎							
		光エレクトロニクス	2			◎															○	◎							
		電気回路Ⅲ	2			◎															○	◎							
		アナログ電子回路	2			◎															○	◎							
		ディジタル電子回路	2			◎															○	◎							
		電子回路設計	2			◎															○	◎							
		固体エレクトロニクスⅡ	2			◎															○	◎							
		半導体デバイス基礎	2			◎															○	◎							
		半導体デバイス工学	2			◎															○	◎							
		量子エレクトロニクス入門	2			◎															○	◎							
		制御工学	2			◎																◎	○						
情報通信系科目	情報通信工学に必要な知識とソフトウェアやネットワークの技能が修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。	コンピュータシステム	2			◎																	◎	○					
		コンピュータグラフィクス	2			◎	○												○				◎						
		メディア情報開発	2			◎	○												○				◎						
		ネットワーク設計	2	○		◎		○															◎					○	
		ディジタル信号処理	2			◎																	◎	○					
		伝送理論	2		○	◎					○												◎						
		通信方式Ⅰ	2			◎																	◎	○					
		通信方式Ⅱ	2			◎																	◎	○					
		ネットワーク工学	2		○	◎						○											◎						
		電磁波工学	2			◎															○		◎						
		無線通信工学	2			◎															○		◎						
		情報理論	2			◎															○		◎	○					
		映像・音響工学	2			◎																	◎	○					
卒業研究		卒業研究	● 4	○		◎	◎	○									○		◎					◎					○

（注）. 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目
単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目

電子情報通信工学科（実務コース）〔2014～2017年度入学生対象〕

ディプロマ・ポリシー

（1）　実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
（2）　人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文･理･情報系の素養〕
（3）　専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識･技術(詳細は学科DP)〕
（4）　技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕
（5）　社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
（6）　地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命観や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕
　◆注：「3）」を明細化したものが、各学科のDPとなる
（A）　数学や自然科学ならびに情報技術の基礎的知識と技能に習熟している。
A−1）数学や自然科学等の基礎的知識を応用することができる。〔数学・自然科学の基礎知識と応用力〕
A−2）コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索ができる。〔文章・統計資料の作成と情報検索能力〕
（B）　国際社会への貢献を自覚し、技術者倫理に基づいて判断できる。
B−1）人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構想することができる。〔人文社会・社会科学の知識と社会貢献の自覚〕
B−2）技術者として必要な社会倫理を理解し実践できる。〔技術者倫理の理解と実践力〕
（C）　国内外で活躍する技術者に必要な自己表現力の基礎が身についている。
C−1）日本語による論理的な表現ができる。〔日本語での論理的な表現力〕
C−2）外国語によるコミュニケーションができる。〔外国語での対話能力〕
C−3）技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。〔技術的な内容の伝達能力〕
（D）　電子・情報通信分野の課題に取り組むために必要な専門知識と技能を蓄積している。
D−1）電気回路などの専門的な知識を身につけ活用できる。〔電気回路等の専門的知識と活用能力〕
D−2）電子デバイスや情報通信、ハードウェアやソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得し活用できる。〔電子・情報通信分野での知識・技能と活用能力〕
D−3）電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。〔電子・情報通信分野での課題解決能力〕
（E）　自主的な学習による問題解決能力を継続的に向上させることができる。
E−1）チームワークで課題解決の計画を立案してそれを遂行できる。〔チームワークによる課題解決能力〕
E−2）さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。〔独自の方法での課題解決能力〕
E−3）与えられた条件下で課題を解決できる。〔与えられた条件下での課題解決能力〕
E−4）自主的な学修を継続することができる。〔自主的な学習の継続能力〕

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1)	2)	3)	4)	5)	6)	A)	A−1)	A−2)	B)	B−1)	B−2)	C)	C−1)	C−2)	C−3)	D)	D−1)	D−2)	D−3)	E)	E−1)	E−2)	E−3)	E−4)
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文学的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△					◎														
		文章表現基礎	2	○	○		◎							◎														
		哲学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		倫理学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		美術史	2	○	◎		△	△	△					◎														
		文学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		言語の世界（廃講）	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△					◎														
		法学（日本国憲法）	2	○	◎		△	△	△					◎														
		経済学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		歴史学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		心理学	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△					◎														
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の文化と社会Ⅰ	2	○	◎		△	△	△					◎														
		日本の文化と社会Ⅱ	2	○	◎		△	△	△					◎														
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○									◎										
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅠa	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅠb	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅡa	1	△	○		◎		○									◎										
		オーラル・コミュニケーションⅡb	1	△	○		◎		○									◎										
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○									◎										
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅠa	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅠb	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅡa	1	△	○		◎		○									◎										
		キャリア・イングリッシュⅡb	1	△	○		◎		○									◎										
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○									◎										
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○									◎										
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○									◎										
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○									◎										
		海外語学研修	2	△	○		◎		○									◎										
		日本語Ⅰ	2	△	○		◎		○									◎										
		日本語Ⅱ	2	△	○		◎		○									◎										
		健康体育Ⅰ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		健康体育Ⅱ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		生涯スポーツⅠ	1	△	○		◎	○	△					◎														
		生涯スポーツⅡ	1	△	○		◎	○	△					◎														
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○																						
		解析学Ⅰ演習	1	◎	○	△					◎																	
		解析学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅱ演習	1	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅲ	2	◎	○	○					◎																	
		解析学Ⅲ演習	1	◎	○	○					◎																	
		線形代数学Ⅰ	2	◎	○	○					◎																	
		線形代数学Ⅱ	2	◎	○	○					◎																	
		微分方程式Ⅰ	2	○	◎	○					◎																	
		微分方程式Ⅱ	2	○	◎	○					◎																	
		物理学a	2	△	◎						◎																	
		物理学b	2	◎	◎	△					◎																	
		物理学c	2	○	◎	○					◎																	
		物理学d	2	○	◎	○					◎										○							
		物理学実験	2	△	△	○	◎	◎	○		◎																	
		化学	2	△	◎				○		◎																	
		地球科学	2		◎				◎		◎																	
		生物科学	2		◎				◎		◎																	
		工学倫理	2	△			△	○	◎		◎				○													
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○		◎				○													
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△						◎		○											
		基礎情報処理Ⅰ	1		◎							◎																
		基礎情報処理Ⅱ	1		◎							◎																
		品質管理	2	○	◎		△	△	○		○				◎													
		確率と統計Ⅰ	2	○	◎	○					◎																	

		確率と統計Ⅱ	2	○	◎	○					◎																	
		淀川と人間	1	△	◎		△	△	○					◎														
		淀川と環境	1	△	○		△	△	◎					◎														
		エンジニアリング探求演習（PBL）	1	○	◎	◎	◎	◎	△																◎	◎	○	
		宇宙・地球・生命ー探求演習（PBL）	1	△	△		◎	◎	○																	○		
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	◎	○					○																	
		ベクトル解析	2	○	◎	○					○																	
		線形代数学Ⅲ	2	○	◎	○					○																	
		線形代数学Ⅳ	2	○	◎	○					○																	
		複素解析Ⅰ	2	○	◎	○					○																	
		複素解析Ⅱ	2	○	◎	○					○																	
		応用数学Ⅰ	2		○	◎					◎																	
		応用数学Ⅱ	2		○	◎					◎																	
		実践化学	2	△	◎				○		○																	
		地球システムと人間	2		◎				◎		○																	
		環境生物学	2		◎				◎		◎																	
		人間発達と人権	2		○				◎					○														
		教育学Ⅰ	2		◎									○														
		教育学Ⅱ	2		◎									○														
		現代代数学	※4																									
		数学特論	※4																									
		現代幾何学	※4																									
		現代解析学	※4																									
		教職物理学	※4																									
		化学実験	※2																									
		地学Ⅰ	※2																									
		地学Ⅱ	※2																									
		地学実験	※2																									
		生物学Ⅰ	※2																									
		生物学Ⅱ	※2																									
		生物学実験	※2																									
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン（2016～）	1	◎			○																					
		キャリアデザインⅠ（～2015）	1	◎			○																					
		キャリア形成支援（2016～）	1	◎			○																					
		キャリアデザインⅡ（～2015）	1	◎			○																					
		インターンシップ	2			◎	○																					
		グローバルテクノロジー論a	1					◎																				
		グローバルテクノロジー論b	1					◎																				
		OIT概論	1	◎																								
分野	分野到達目標	授業科目名	単位数	1）	2）	3）	4）	5）	6）	A）	A-1）	A-2）	B）	B-1）	B-2）	C）	C-1）	C-2）	C-3）	D）	D-1）	D-2）	D-3）	E）	E-1）	E-2）	E-3）	E-4）
基幹科目	電気回路などの専門的な知識を身につけている。日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションができる。電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に適用できる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で考えることができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続をすることができる。	電子情報通信基礎演習	●1		◎	○					◎										○							
		電子情報通信実験Ⅰ	●2	◎		◎	◎	◎									◎				○	○			◎			
		電子情報通信実験Ⅱ	●2	◎		◎		◎													○	○	◎		◎			
		電子情報通信実験Ⅲ	●2	◎		◎		◎													○	◎	○				◎	
		エレクトロニクスプラクティス	●2	◎		◎		◎											◎		○				○		◎	
		電気回路Ⅰ	●2		○	◎					○										◎							
		電気回路Ⅱ	●2			◎															◎	○						
		電気磁気学Ⅰ	2		○	◎					○										◎							
		電気磁気学Ⅱ	2		○	◎					○										◎							
		基礎電子回路Ⅰ	2		○	◎					○										◎							
		基礎電子回路Ⅱ	2			◎															◎	○						
		固体エレクトロニクスⅠ	2			◎															○	◎						
		コンピュータ基礎	2			◎																◎						
		コンピュータアーキテクチャ	2			◎																◎						
		情報通信基礎	2		○	◎					○											◎						
		電気回路Ⅰ演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電気回路Ⅱ演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電気磁気学演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		電子回路演習	1	◎		◎		◎													○		○					◎
		コンピュータ演習（～2016）	1		○	◎						○										◎						
		プログラミング・同演習	3	◎		◎		◎														○				◎	○	
技術人材育成・資格関連科目	技術者として必要な社会倫理を理解している。	情報社会と倫理	2		○				◎					○	◎													
		情報と職業	2		○				◎					○	◎													
		電波・通信法規	2			○			◎						◎							○						
エレクトロニクス系科目	電子デバイスやハードウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすシステム技術を構想できる。	電気計測	2			◎															○	◎						
		電気磁気学Ⅲ	2			◎															○	◎						
		レーザ工学	2			◎															○	◎						
		光エレクトロニクス	2			◎															○	◎						
		電気回路Ⅲ	2			◎															○	◎						
		アナログ電子回路	2			◎															○	◎						
		ディジタル電子回路	2			◎															○	◎						
		電子回路設計	2			◎															○	◎						
		固体エレクトロニクスⅡ	2			◎															○	◎						
		半導体デバイス基礎	2			◎															○	◎						
		半導体デバイス工学	2			◎															○	◎						
		量子エレクトロニクス入門	2			◎															○	◎						
		制御工学	2			◎																◎						
情報通信系科目	情報通信工学やソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。	コンピュータシステム	2			◎																◎	○					
		コンピュータグラフィクス	2			◎	○												○			◎						
		メディア情報開発	2			◎	○												○			◎						
		ネットワーク設計	2	○		◎		○														◎					○	
		ディジタル信号処理	2			◎																◎	○					
		伝送理論	2		○	◎					○											◎						
		通信方式Ⅰ	2			◎																◎	○					
		通信方式Ⅱ	2			◎																◎	○					
		ネットワーク工学	2		○	◎						○										◎						
		電磁波工学	2			◎															○	◎						
		無線通信工学	2			◎															○	◎						
		情報理論	2			◎															○	◎	○					
		映像・音響工学	2			◎																◎	○					
卒業研究		卒業研究	●4	○		◎	◎	○									○		◎				◎					○

（注）. 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目
単位数の前に※を付した授業科目は卒業に必要な単位数に含めない科目